君津市消防団組織再編基本計画(素案)について

消防本部

1 計画の趣旨

社会経済環境が大きく変遷している昨今、令和元年、本市に甚大な被害をもたらした一連の風水害では、発災直後から消防団員の迅速な行動や、地域に密着したきめ細やかな対応がとられ、消防団の必要性と重要性を再認識するものとなった。

今後も起こりうる災害に対する備えや、減災への取組を実施していくには、地域防災力を強化することが重要となり、そのためには地域コミュニティの中核である消防団と地域が連携した防災体制に取り組んでいく必要がある。

このように、地域防災の要とされている消防団を将来にわたり維持していくため、消防団の受け継がれてきた長い歴史と伝統を継承しつつ、団員が活動しやすい体制づくりを第一に考え、多様化する災害にも柔軟に対応し、かつ団員の負担軽減が図れるよう、君津市消防団の新たな組織体制を構築するため「君津市消防団組織再編基本計画」を策定するもの。

2 計画の位置づけ

本計画は、平成25年12月に策定された「消防団を中核とした地域防災力の充実強化に関する法律」を背景に、社会情勢の変化を踏まえ、将来にわたり地域防災力を維持していくために、本市が講ずべき施策等について定めるものである。

なお、本市の「防災・消防」に関する施策を実行するための個別計画として、最上位計画である「君津市総合計画」をはじめ、関連する各種計画との整合を図っていくものとする。

3 計画の期間

令和3年度から令和10年度まで(8年間)

役員の任期(2年間)替えに合わせ、社会情勢の変化を踏まえ、弾力的な再編を進める。

	2020 (R2)	2021 (R3) 任期替え	2022 (R4)	2023 (R5) 任期替え	2024 (R6)	2025 (R7) 任期替え	2026 (R8)	2027 (R9) 任期替え	2028 (R10)
基本計画	策定								
実施計画	再編実施	策定	・再編実施	策定·再	編実施	策定·再	編実施	策定·再	編実施

4 再編の基本方針

人口減少社会を見据えた中においても、地域防災の要である消防団を将来にわたり維持 していくため、次の方針により再編を進めていく。

- (1) 再編により効率的な組織体制を構築するとともに、地域コミュニティを考慮し、消防力の低下を招かないように配慮する。
- (2) 管轄区域で活動できる団員数を確保することにより、団員の負担軽減を図る。
- (3) 再編後は、分団機庫、車両を当面の間地域に残すことにより、地域防災力の維持を図る。
- (4) 大規模化する自然災害への対応にあたり、組織体制を強化することにより効果的な 運用を図る。
- (5) 再編による分団機庫、車両の配置を見直すとともに、使用頻度の低下した分団機庫、車両については団員の管理上の負担等を考慮し、原則廃止していくものとする。

5 再編に係る対策

(1)組織機能の見直し

指揮命令系統の一本化など、円滑な消防団活動を行う体制を構築するため、団本部、 支団、分団、機能別分団のそれぞれの機能について見直しを行う。

- (2) 消防団への女性の入団促進 女性の活躍を促すことにより、地域住民の安全・安心の向上に努める。
- (3) 出動体制の見直し

風水害や地震など大規模な自然災害等においても、近接する分団と協力連携できる 体制づくりを行う。

(4) 常備消防との連携

常備消防との連携を強化し、大規模化する災害にも対応できる体制を構築する。

- (5) 装備品の充実強化と災害対応能力の向上 資機材や装備品の計画的な拡充を図り、災害対応能力の向上を図る。
- (6) イメージアップと処遇の改善

消防団活動の必要性について市民の理解を深めてもらうため、消防団のイメージ アップを図るとともに、団員報酬や出動手当等の処遇の改善を図る。